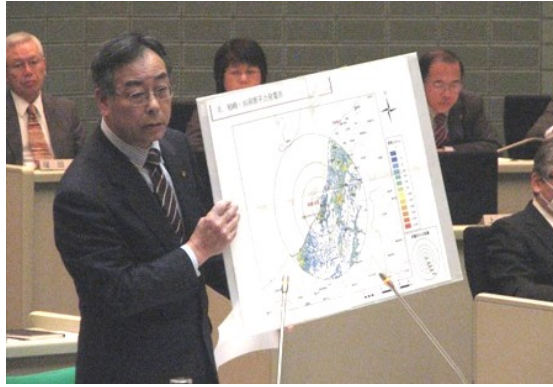


原発事故時の避難計画は実効性があるのか

上野議員の一般質問



上野議員は原子力防災計画と地域協議会の権限の問題について一般質問を行いました。

原子力防災については、「過酷事故が起きた際の事態の進展に伴って段階的対応と段階的避難計画について見直し案が示されているが、実効性に欠けるのではないかと。福島第一

原発事故の教訓を生かしていない。広域避難の際は迅速な行動が求められるが、予め複数の避難先候補を決めておく必要があるのではないか」と追及しました。

これに対して、市長は「災害発生時に広域避難が必要な際は、県が避難先市町村と調整して指示する手はずになっている。複数の避難先選定は有効だ。県はP A ZやU P Z区域を有する市町ごとに風向きを考慮した調整などを行うことになっている。実効性を確保するために、広域避難などワーキングチームで検討を進めている」と答えました。

また、上野議員の「安全協定は市

町村がまとまって対応できる点では評価している。当事者の立場で改善が必要だ。そのような強い効力を付加できるか」との問いには、「非常時には、県が全自治体を代表する立場で対応できることで担保できると考えている」と述べました。

高田区地域協議会への諮問と答申については、上野議員が「(仮称)厚生産業会館建設構想の諮問及び答申をめぐって地域協議会を軽視しているとの声も聞かれる。形骸化の懸念はないか」と質問しました。

市長は、「地域協議会の答申は最大限尊重する。今回の問題にも丁寧に対応してきた」と答えました。

国の制度34項目 市の制度39項目に影響

生活保護基準引き下げが市民生活を直撃 平良木議員の一般質問

3月議会の一般質問で、平良木議員は、生活保護基準の引き下げによる市民生活への影響と、道路除雪の強化についていただきました。

生活保護基準は、実際に生活保護を受給している市民だけでなく、たくさんのお金を必要とする方もいます。というものは、個人住民税の非課税限度額の見直しに連動することなどによるものです。

答弁では、生活保護基準や非課税限度額を参照している各種の減免や助成制度など、国の制度で

は8府省で34項目、市の制度では39項目の助成制度に影響する可能性があるとのことでした。

平良木議員が、「こうした影響を避けるために、市としてどんな手立てをとるのか」とただしたのに対して、市長は、「国は、それぞれの制度で影響が及ばないよう対応する方針であり、非課税限度額については、平成26年度以降の税制改正を踏まえて対応するとしている。市の各種助成制度は、税制改正を見極めながら、新年度に対応方針を検討

する」と答えました。

さらに、平良木議員が「例えば、就学援助制度は、今対象になっている世帯は、引き続き対象になるように手立てするのにか」とただしたのに対して、担当部長は、「国がわざわざ税制改正でやるというっているのは、自動的に(対象引き下げは)しないということであらうし、市もそれを考えて対応する」と答えました。

除雪の強化では、担当部長は「除



雪対象になっていない市道は状況が多様なため支援は困難だが、高齢化で雪への対応力が低下してきており、このことに対してどのような支援が必要なのかは検討課題だ」と答えました。

総合事務所のグループ集約問題

試行と本実施はしっかりと区別し サービス低下なら見送るべき

橋爪議員の一般質問

橋爪議員は、前回に引き続き、総合事務所の産業建設グループ集約問題を取りあげました。

この集約で、柿崎、浦川原、板倉の3区総合事務所以外では職員が激減します。災害発生時の初期対応や、まちづくりがどうなるのかという不安や懸念の声が市民から上がっています。橋爪議員は、こうした声をどう思うか、そして試行段階で市民サービスの低下がはっきりしたから本実施は見送るべきだと主張し、市長の見解を求めました。

これに対して、市長は「災害発生時には、まさに総合事務所と木田庁舎の関係課等の間において機動力を発揮した対応が図られることが可能」となる。「災害時における職員の参集方法を見直すなど、体制の充実も図った」と答えました。地域づくりに関しては、「各区の特色や独自性を確保することを基本とし、その上で、広域的な視点に立って、それぞれの地域がもつ資源等を最大限に発揮し、相乗的な効果を得ることのできる地域施策を企画し、推進していく」と答えました。市は試行で問題が出たらそこで修正していくと述べるだけで、本実施の中止には言及しませんでした。議員団は、今後の動きを注視していきます。

橋爪議員が 4冊目の随想集発刊

新随想集は『あねさかぶり』(同時代社、1000円)、ご一読ください。春陽館、柿村書店、南部堂等にあります。橋爪議員に携帯電話で直接注文して下さってもけっこうです。お届けします。



日本共産党上越市議員団ニュース

No. 357 2013年3月31日

連絡先
橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)